

CSR 経営への進化

The Evolution of Corporate Social Responsibility Management.

田中宏司
Hiroji Tanaka

CSR の実践は世界的な流れになっている。こうした動きは、国際規格 ISO26000 の発行とわが国における工業規格 JISZ26000 の制定・公示により、一段と加速されている。本論では、世界的な CSR 動向を概観したあと、国際規格 ISO26000 と JISZ26000 の特徴と主要な内容を紹介する。具体的には、社会的責任の定義から、7つの原則、7つの中核と主要な内容を考察したあと、わが国企業が、これまでのコンプライアンス経営を基盤にして、CSR 経営へと進化している流れを分析し考察する。

本論文の構成は、次の通りである。

第1章 世界的な CSR の動向

1. CSR は世界的な潮流
2. CSR の主要な課題
3. CSR の基本コンセプト

第2章 国際規格 ISO26000 と JISZ26000 の動向

1. ISO の国際規格 (ISO26000) 制定の経緯
2. 基本的な特徴
3. JISZ26000 の制定・公示
4. ISO26000 と JISZ26000 の主要な内容

第3章 コンプライアンス経営から CSR 経営への進化

1. コンプライアンス経営を基盤とした CSR 経営
2. 共通価値の創造との関係
3. CSR 組織体制と構築の方法
4. 情報開示と CSR 報告書の役割
5. コンプライアンス経営から CSR 経営への進化と社会からの信頼
6. CSR 実践ロードマップの作成